

自民党 江東区議会議員

にしがき誠



～政治理念～

志を抱き、皮相の動きにとらわれず、断固初心を貫く！

「英語村（仮称）」事業実施方針（概要）

1 趣旨 「英語村（仮称）」の開設に向けて、施設や運営手法、提供する学習プログラムの考え方等の必要事項について、基本となる方針を策定

2 概要

■開業：平成30年9月末までに開業（運営期間は、開業日から10～15年間）

■事業施設：タイム24ビル（所在地 江東区青海）

■東京都の役割 事業者に対して、次の補助金を交付

- ・施設改修経費（開業までに発生した経費）：2分の1を補助（4億5千万円を上限）
- ・事業施設賃料（共益費を含む。敷金等を除く。）：10分の10を補助

■今後の予定

- ・平成28年 3月下旬 募集要項の公表（済）
- 8月上旬 提案書の受付
- 9月下旬 事業予定者の決定・公表
- ・平成30年 9月末まで 開業

ENGLISH【（仮称）英語村】が

江東区の青海へやってきます！

先般ご報告申し上げましたとおり、昨年6月9日・10日の両日に開催された区議会本会議一般質問において「有明地区のまちづくり」について私より一般質問いたしました。（質問内容：下記参照）

その中で、「英語村」について江東区への誘致を要望し、誘致へ向けて関係各所との協議などの活動を行ってまいりましたが、**本年3月3日、ついに誘致が決定いたしました！**

有明地区のまちづくりについて
（答弁者／山崎区長）

【Q】東京都が検討している「英語村」の有明地区への誘致について要望する。オリンピック・パラリンピックの多くの会場となる有明地区は、特に国際感覚あふれるまちづくりが望まれると共に、現任本区が推進している「こうとう学びスタンダード」の中でも英語は「英語スタンダード」として推進されているところであり、是非とも「英語村」の有明地区への誘致を東京都に対して要望したい。

【A】本区では2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、子ども達が外国から来た人々をおもてなしするため、平成26年度から「英語スタンダード」を全小中学校で実施し、英語でコミュニケーションできるよう英語教育を推進している。ご提案の「英語村」に生きた英語学習ができる点で、英語スタンダードで身に付けた能力をさらに向上させる可能性があるため、今後東京都の動向を注視していく。

お年寄りを敬い
子ども達が輝く地域へ！

現役子育て世代の目線で！

にしがき誠が目指す
3つの政策！

地元商店街の
ますますの景気向上を！

お年寄りが安心して過ごせる
環境づくりを！

皆様のお声をお寄せください！

お問合せ先

公式ホームページ◆<http://nishigakim.jp/>
 携帯電話◆090-1110-5392
 事務所◆江東区豊洲4-9-13-207
 発行責任者◆西垣 誠

豊洲西垣

検索

にしがき誠
プロフィール

- ◆昭和47年1月 大分県出身
- ◆平成6年3月 明治大学商学部卒業
- ◆職歴：平成6年4月 国内金融機関就職～外資系金融機関勤務～江東区議会議員（自民党所属）
- ※所属委員会：【常任委員会】文教委員会【特別委員会】オリンピック・パラリンピック推進特別委員会

【江東区における活動の経歴】◆豊洲北小学校初代PTA会長（6年間）◆深川第五中学校PTA副会長◆江東区青少年対策豊洲地区委員会委員（育成部長）◆区立小学校PTA連合会会長◆保護司候補者検討協議会委員◆青少年問題協議会委員◆生活安全対策協議会委員◆環境審議会委員◆砂村囃子豊洲保存会会長◆豊洲睦会員◆牡丹町公園ラジオ体操会会員◆金剛禅総本山少林寺東京辰巳道院顧問★平成24年11月3日「江東区政功労者表彰（教育関係功者）」受章



東京版 英語村 (仮称)

日本人の英語力

日本人は、中学・高校で6年間かけて英語を学んでいるにもかかわらず、英語でコミュニケーションできる力が十分に身に付いていない。

英語の4技能



TOEFLスコアの国際比較 (平成26年)

★国別得点順位 169か国中→138位
★アジア諸国との比較 30か国中→27位

※4技能別の結果においても、スピーキングがアジア圏で最下位、リスニング、ライティング、リーディングも低い

都立高校の現状把握に関する調査 (東京都 (平成23年) 7月実施) ※平成8年より5年ごとに実施

★外国の人々とのコミュニケーションや留学に対する意識について (都立高校2年生 7,674人回答)

	そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答・わからない
異なる言語や文化をもつ外国の人々と進んでコミュニケーションをとりたいと思うか	24.9	26.1	20.4	12.8	10.5	2.9
仕事などで海外で活躍してみたいか	12.6	17.8	25.0	18.9	19.4	3.6
今後、留学したいか	13.3	14.2	19.4	17.2	30.0	5.9

27.5%

47.2%

約5割が否定的意見。いわゆる内向き志向が明らかに…

- ★留学したいと思うようになったきっかけは
- 1位 本やテレビ、インターネット等の情報
 - 2位 海外旅行経験
 - 3位 家族や身近な方からの勧め

- ★留学したくない理由は何ですか
- 1位 留学に興味をひかれない
 - 2位 能力に自信がない
 - 3位 経済的な負担が大きい

世界一の都市・東京の実現

経済活動の国際化に伴うグローバル人材育成のニーズ

オリンピック・パラリンピック教育の推進

英語教育改革

英語村の開設

東京版英語村開設の基本構図

【学校教育】
◆学習指導要領に基づく4技能の向上

学んだ英語を体験・実践

フィードバック

- ①実社会で英語を使用する楽しさや必要性を体感
- ②学習意欲向上のきっかけ作り (興味・関心・自信・反省)

- 学校の英語教育を踏まえたプログラムを提供
- 利用しやすい価格で子ども達に参加機会を提供

支援する仕組み

- ◎JET・ALTの配置拡充 (※)
- ◎英語科教員の海外派遣

※JET: JETプログラムとは、語学指導等を行う外国青年招致事業 (The Japan Exchange and Teaching Programme) の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業

※ALT (外国語指導助手): Assistant Language Teacherの略。日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える英語を母語とする外国人を指す

区内小中学生が公費で参加できるように予算要求をいたします!

- ▶ 実生活や仕事の場面で、苦手意識なくコミュニケーションできる英語力の習得
- ▶ グローバル人材としての素養の習得

東京版英語村構想

1. コンセプト

- ・英語を「使うことに慣れる」場
- ・英語を「試す」場
- ・「交流」の場
- ・「きっかけ作り」の場

2. 対象・参加形態

《対象学年》

- ・おおむね小学校第5学年から高校第3学年まで

《対象者》

- ・東京都内の児童・生徒
- ・東京都外の児童・生徒
- ・児童・生徒以外の利用

《参加形態》

- ・「学校行事」による参加
- ・「個人」「グループ」による参加
- ・日帰り型 (通所型)
- ・宿泊型

3. 運営

- ・民間のアイデアやノウハウ、経営手法の活用
- ・安価な入場料
- ・多様な人材確保

